

## [衛生指導課業務]

県並びに生産者団体及び畜産関係団体等と連携を強化しながら、自衛防疫の推進を図り、家畜伝染病予防に係る以下の事業を行った。

### 1) 補助・助成事業

#### (1) 国庫事業

##### ① 牛疾病検査円滑化推進対策事業

BSE(牛海綿状脳症)検査機関及び県との連絡を密にし、BSEの発生予防のため、BSE検査及び死亡牛の適正な処理を推進した。

また、県及び関係機関と連絡調整し、事業を推進した。

死亡牛検査処理状況

(令和3年3月末現在)

区 分	計 画	実 績	備 考
96ヶ月以上	15頭	20頭	検査のみ2頭含
24ヶ月以上96ヶ月未満	0頭	478頭	
7ヶ月以上24ヶ月未満	0頭	142頭	
7ヶ月未満	0頭	306頭	
合 計	15頭	946頭	

##### ② 家畜生産農場衛生対策事業

###### a) 疾病清浄化支援対策

###### ・EBL対策

牛伝染性リンパ腫の感染拡大を防止するための検討会を開催し、牛伝染性リンパ腫対策実施農場での陽性牛の確認及び陰性牛の流通を推進するための検査に要する経費の助成を行った。

#### (2) 県補助事業

##### 家畜伝染病緊急防疫体制整備事業

県内における豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等の家畜伝染性疾病のウイルス侵入防止対策として飼養衛生管理基準の改正に伴う一層の強化を目的に、畜産農場の出入口における車両等の消毒を徹底するための動力噴霧器や野生動物の侵入防止用防護柵等が未整備の農場に対し、機械器具等を貸与した。

また、陽性野生イノシシが継続発生中、野生イノシシの調査捕獲を強化した。

#### (3) 公益財団法人中央畜産会事業 受託事業

##### ① 家畜防疫互助基金支援事業

豚熱、口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合、飼養家畜のとう汰に伴う損失を生産者等が互助補填する仕組みを支援するため、生産者等に対し、事業の普及・連絡調整を実施し、対象疾病の発生に備えた。

② 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会事業）

豚熱発生農場となった生産農場に対し、県及び関係機関と連携して経営再開の意思を確認し、互助基金申請に向けての支援を行った。

家畜防疫互助事業生産者積立金状況（実施期間：平成30年度～令和2年度の3年間）

乳用牛・肉用牛

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
乳用牛	24ヶ月齢以上	35	5,683	1,335,505
	24ヶ月齢未満	28	1,278	121,410
肉専用種繁殖雌牛	24ヶ月齢以上	29	1,285	289,125
肉専用種繁殖雌牛 肉専用種肥育牛	24ヶ月齢未満	102	21,750	2,392,500
肉専用種と乳用種 の交雑肥育牛		17	2,574	270,270
乳用種肥育牛		7	170	16,150
計		218	32,740	4,424,960

豚（既存契約）

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
家族型	繁殖用種豚(雌)	24	4,003	480,360
	繁殖用種豚(雄)	22	187	22,440
	肥育豚	26	41,370	1,241,100
企業型	繁殖用種豚(雌)	9	5,106	638,250
	繁殖用種豚(雄)	7	103	12,875
	肥育豚	9	48,770	1,706,950
計		97	99,539	4,101,975

豚（追加納付）

	家畜の種類	戸数	頭数	積立金額
家族型	繁殖用種豚(雌)	22	3,813	1,372,680
	繁殖用種豚(雄)	20	174	62,640
	肥育豚	23	39,570	3,561,300
企業型	繁殖用種豚(雌)	9	5,106	1,914,750
	繁殖用種豚(雄)	7	103	38,625
	肥育豚	9	48,770	5,120,850
計		90	97,536	12,070,845

※戸数は延べ戸数です。

(4) 公益社団法人中央畜産会事業

① 家畜防疫・衛生指導対策促進事業

a) 地域自衛防疫推進事業

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効な活動方策、慢性感染症の対策の推進、検討等を行った。

b) 地域自衛防疫活動推進対策

地域の実態に即した自衛防疫活動を畜種別に協議し、地域防疫体制の整備、定着を図った。

c) 慢性感染症清浄化支援対策

モデル農場における牛伝染性リンパ腫の清浄化に向けて防疫支援のための検討会、清浄化、普及推進を行った。

d) 地域農場HACCP認証支援対策

農場認証に取り組む農場を対象に構築指導を実施すると共に、既認証農場に対して内部検証等のフォローアップを行った。

② 馬防疫強化地域推進対策事業

a) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会開催等事業

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種の推進の検討をした。

b) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業

競走馬以外の乗用馬等に馬インフルエンザワクチン接種を行った。

馬インフルエンザワクチン接種頭数

乗馬クラブ等	計 画	実 績
7	100 頭	84 頭

③ 馬飼養衛生管理特別対策事業

令和 3 年度開催の「とこわか国体」に向け、馬体検査等の馬飼養衛生管理に関する講習会を開催すると共に、地域の馬飼養・衛生管理状況等に関する馬の獣医療の実態調査を実施した。

## 2) 令和2年度の主な行事

(令和3年3月末現在)

年	月	日	行 事 内 容
2	7	27	馬飼養衛生管理体制整備委員会
		27	馬防疫強化地域推進検討会
	8	7	家畜伝染病防疫講演会（豚熱・アフリカ豚熱）
	9	15	東海ブロック家畜防疫・衛生指導推進会議（名古屋）
	10	12	馬飼養衛生管理技術地方講習会（三重県馬術競技場）
		19	馬飼養衛生管理技術地方講習会（三重県馬術競技場）
	12	11	地域自衛防疫取組促進会議
		11	牛白血病検討会
3	1	25	牛疾病検査円滑化推進会議
	2	26	家畜防疫互助基金支援事業中央推進会議（リモート会議）
	3	8	馬飼養衛生管理体制整備委員会
	8	8	馬防疫強化地域推進検討会